

番外 正福寺

○ お寺の歴史

当山は国立公園伊勢志摩の中央、鳥羽市松尾町と、志摩郡磯部町にまたがる海拔三三六m、雲青く気澄み、東海の天にそびえる霊地であり、その昔倭姫命始めて皇大神をおまつりされたところと言われております。

本尊十一面観世音は、相差の海上より鯨魚に駕して出現し、光明紡突として四方を照らし、この天朗峯（あおのみね）に飛来されたと伝えられております。



▲山門



▲観音像



▲本堂内陣



▲本堂

○ 基本情報

住所／〒 517-0042 三重県鳥羽市松尾町 519

電話／ 0599-55-0061

参拝時間／ 8時～ 17時

山号／青峰山（あおみねさん）

寺号／正福寺（しょうふくじ）

宗派／真言宗高野山派



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

●年中行事

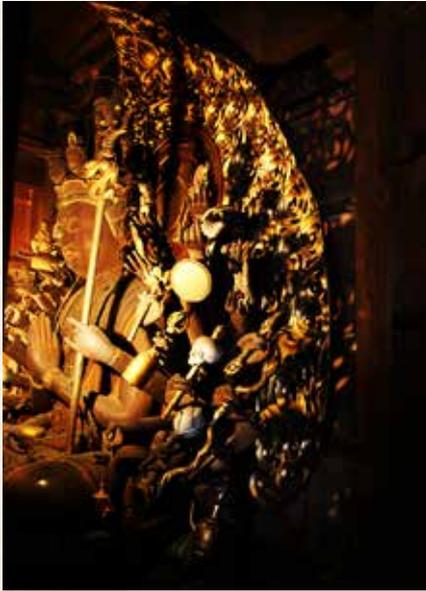
- ・ 1月1日～3日：修正会
- ・ 1年御祈祷開白
- ・ 旧暦2月初午の日：初午会
- ・ 毎月旧暦18日：御縁日

- ・ 節分2月3日：年祭
- ・ 旧暦正月18日：大会式（御船祭り）
- ・ 旧暦7月18日：夏会式（おぼん会）

第1番 太江寺

○ お寺の歴史

聖武天皇（在位七二四～四九）の御宇、行基菩薩伊勢神宮参拝の砌、皇大神の夢告により開創されたと寺伝は伝える。天長二年（八二五）に朝熊岳開創の折、弘法大師は再三当山を訪れ、真言の秘法を伝えられ、また醍醐天皇（在位八九七～九三〇）は勅願寺とする繪旨を下賜されている。以来寺運は栄えたが、平安末期より衰退をたどり、鎌倉初期文治年間（一一八五～九〇）に、当山の衰退を見て内宮の一の禰宜荒木田成長神主が諸堂を再建せられ、本尊千手観音像を寄進、再び旧に復し隆昌を極めたが、徳川の初期（二六一五）雷火により諸堂は焼失してしまつた。本尊は幸いにも猛火を脱せられた。



▲観音像



▲本堂への階段



▲本堂



▲山門

○ 基本情報

住所／〒516-0000 三重県伊勢市二見町江 1659

電話／0596-43-2283

公式サイト／<http://www.taikouji.com/>

山号／潮音山（ちょうおんざん）

寺号／太江寺（たいこうじ）

宗派／真言宗醍醐派



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

客殿でユースホステルを運営しています。

第2番 金剛證寺

○ お寺の歴史

朝熊山は、伊勢の東方に高く聳（そび）え、山より朝日が輝き登り、そのお日様によって万物（ばんぶつ）が恵みをうけて成育してゆくところから、庶民の信仰をあつめて居りました。

大和朝廷に於かれては、皇祖の神霊の鎮座するところを探して居りましたが、ついに垂仁（すいにん）天皇の時、朝熊山の麓（ふもと）、五十鈴川のほとりの清らかな土地に鎮座を定め、伊勢神宮の御社（おやしろ）をお建てになりました。

万葉集ではこの伊勢神宮（内宮）を朝日の来向（きむかう）国と歌われました。



▲本堂



▲太鼓橋と本堂



▲山門（仁王門）



▲鐘楼堂と山門

○ 基本情報

住所／〒 516-0021 三重県伊勢市朝熊町 548

電話／ 0596-22-1710

参拝時間／ 9時～ 16時

山号／勝宝山（しょうほうざん）

寺号／金剛證寺（こんごうしょうじ）

院号／兜率院（とそついでん）

宗派／臨済宗南禅寺派



左の QR コードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第3番 松尾観音寺

○ お寺の歴史

寺伝によりますと龍池山松尾観音寺は、約一三〇〇年前の奈良時代（七二二年）に当時の高僧、行基が伊勢神宮参拝の折にこの松尾山に当寺を創建されたと伝えられており、本山も末寺も檀家も持たず、いずれの既成宗派にも属さない単位という特異な形態で存在している祈願寺で、霊験あらたかな本尊十一面観世音菩薩と脇仕の地藏菩薩、毘沙門天が、衆人の除災、結縁などにたいへんご利益があると考えられ参拝者が多く訪れます。



▲本堂



▲絵馬



▲欄間



▲観音堂

○ 基本情報

住所／〒 516-0014 三重県伊勢市楠部町 156-6

電話／ 0596-22-2722

参拝時間／ 8時～ 17時

公式サイト／ <http://matsuokannon.jugem.jp/>

山号／龍池山（りゅうちざん）

寺号／松尾観音寺（まつおかのんじ）

宗派／単立寺院



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第4番 田宮寺

○ お寺の歴史

当寺の創建について寺伝は、行基が伊勢神宮参籠のおり、聖武天皇の勅命を受けて神亀2年（725）9月に神宮法楽寺として「陰陽両体神法楽の本尊十一面の観音の尊像は、行基菩薩並びに神人変化の御作」になる二体の観音様をお祀りし、建立したものと伝えていきます。その後、帰朝した空海が当山にしばらく逗留して神護景雲年中（767～770）火災により焼失した殿堂楼門を落成し、寺運隆盛を極めたことから、弘法大師を中興の祖と仰いでいます。



▲本堂



▲観音堂



○ 基本情報

住所／〒519-0434 三重県度会郡玉城町田宮寺322

電話／0598-21-5737（兼務寺）

参拝時間／8時～17時

山号／富向山（ふうこうざん）

寺号／田宮寺（たみやじ）

宗派／真言宗



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとGoogleマップを表示します。

○ 見所

第5番 中山寺

○ お寺の歴史

当山は慶安4年（1651）、妙心寺137代住持愚堂東寔（とうしよく・1579〜1661）へ大円宝鑑国師へに帰依した亀山藩主石川昌勝が願主となり、当時の山田奉行石川大隅守の援護を受け、神宮の内・外宮中間のこの地に開山したもので、宗派県下第一の古刹です。



▲山田奉行お墓



▲観音堂



▲本堂



▲山門（仁王門）

○ 基本情報

住所／〒516-0035 三重県伊勢市勢田町411

電話／0596-28-6709

参拝時間／8時～17時

山号／神護峯（しんごほう）

寺号／中山寺（ちゅうざんじ）

宗派／臨済宗妙心寺派



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第6番 金胎寺

○ お寺の歴史

当寺観音院の本尊は、黄金の秘尊を腹藏した一丈二尺の千手観世音菩薩です。今から一二〇〇年前の天長年間、弘法大師が伊勢両宮ご参籠の後、朝熊岳金剛証寺に修禪されてからこの地に杖を止め、開眼されたものと伝えられています。



▲境内から望む鳥羽市の風景



▲山門



▲境内

○ 基本情報

住所／〒 517-0011 三重県鳥羽市鳥羽3-24-1

電話／ 0599-25-3035

参拝時間／ 8時～ 17時

山号／慈眼山（じげんざん）

寺号／金胎字（こんたいじ）

宗派／真言宗京都仁和寺派末



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第7番 宝林寺

○ お寺の歴史

宝林寺は、昔、大岡忠相も奉行として赴任した「山田奉行所」があつた地でもあり、宮川が伊勢湾にそそぐ河口、伊勢市御園町小林にある浄土宗お寺です。大湊町あつた長楽寺末として円譽上人が慶長十八年（一六一三）に堂宇を整えて開山したと伝えていきます。



▲本堂内陣

▲写真の説明

▲写真の説明

○ 基本情報

住所／〒 516-0801 三重県伊勢市御園町小林 361
電話／ 0596-36-1812
参拝時間／ 8時～ 17時

山号／佛性山（ぶっしょうざん）
寺号／宝林寺（ほうりんじ）
宗派／浄土宗



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第8番 継松寺

○ お寺の歴史

古資料によれば、天平十五年（七四三）聖武天皇は伊勢神宮へ行基を遣わし、奈良大仏建立の神勅を奉伺せられた。行基は霊告を蒙り当地方に四カ寺を建て、本尊に如意輪観音を祀り、事業達成を祈願なされた。当山はその内今に残る随一の霊場である。



▲本堂



▲3体の地蔵像



▲本堂内陣



▲山門

○ 基本情報

住所／〒515-0083 三重県松阪市中町1952

電話／0598-21-0965

参拝時間／8時～17時

公式サイト／<http://www.okadera.com>

山号／岡寺山（おかでらさん）

寺号／継松寺（けいしょうじ）

宗派／高野山真言宗



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

元9番 國東寺

○ お寺の歴史

國東寺は、今から、およそ千四百年前、聖徳太子が皇大神宮の神勅にしたがい、伊藤神宮（内宮）の真西、天照大神と素盞鳴尊の胞衣（えな）が納められていると言われている國東山に、天下泰平、万民豊樂を祈願する為十一面観世音菩薩をお祀りしたのがはじまりと伝えられています。



▲本堂内陣



▲本堂内陣



▲山道

○ 基本情報

住所／〒 516-2105 三重県度会郡度会町平生 1481

電話／ 0596-62-1018

参拝時間／ 8時～ 17時

公式サイト／ <http://kuzukaji.com>

山号／涌福智山（ゆうふくちざん）

寺号／國東寺（くづかじ）

宗派／和宗



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第9番 千福寺

○ お寺の歴史

縁起によると、本尊の手引き十一面観世音菩薩は、推古天皇十五年（六〇七）聖徳太子が神勅をうけ像高五尺（約一五〇cm）の尊像を一刀三礼彫刻された霊像にして、無量山に一字を建て安置された。これが当山の草創と伝える。その後大徳泰澄が来山し七堂伽藍を建立し、人々の信仰を集め、益々寺運は興隆した。

平安後期花山法皇（九八六天皇退位）は西国三十三所霊場の再興を發願され、当地を通行の折、当山に不思議な雷光あれ、吉兆の立ち上るを見て、衆生済度のため、当山に参籠して祈願を続けられた。



▲本堂



▲境内から望む宮川



▲境内庭



▲鐘楼

○ 基本情報

住所／〒 519-2422 三重県多気郡大台町柳原 201

電話／ 0598-85-0077

参拝時間／ 9時～ 16時

山号／無量山（むりょうざん）

寺号／千福寺（せんぷくじ）

宗派／真言宗 山階派



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第10番 金剛座寺

○ お寺の歴史

当寺は、旧寺名を穴師(子)寺といい、寺史には白鳳二年(六七三)藤原鎌足有縁の草創という説と、白鳳九年(六八〇)に鎌足の一子、不比等が開山したという二つの説がある。讃岐の四国八十六番札所志度寺の別当寺として十一面観音をご本尊にしていたという。持統七年(六九三)頃に不比等内妻の息子房前の母孝行に感銘を受け、房前が志度寺に母の姿として彫らせ奉納した如意輪観音を金剛座寺に遷座させ、行基菩薩開眼の上本尊にして内妻の菩提寺としたと伝えられており、「志度の観音さん」と呼ばれていた。この寺史には、志度寺の縁起である謡曲でも有名な『海女の玉取り伝説』が付け加されている。当地の佐奈は『古事記』に登場するほど、神祇職であった藤原一族と関係の深い地域であることから、当寺は志度寺と親交のあった藤原氏との関係を伺わせられる。山頂には式内穴師神社跡があることから、大和の穴師坐兵主(あなしにましますひょうず)神社から移住した氏族の菩提寺として草創されたと考えられ、天曆七年(九五三)の公文書『近長谷寺資財帳』に穴師寺の寺名が登場し、また延喜五年(九〇五)の『延喜式神名帳』伊勢国の項に穴師神社の社名が見えることから、寺史の真偽は別にしても、相当古い歴史を持つ寺社であることがわかる。



▲本堂



▲展望台からの景色



▲本堂内陣



▲鐘楼

○ 基本情報

住所／〒519-2177 三重県多気郡多気町大字神坂169

電話／0598-37-2717

参拝時間／8時～17時

山号／摩尼山(まにさん)

寺号／金剛座寺(こんごうざじ)

宗派／天台宗修験道法流



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第11番 近長谷寺

○ お寺の歴史

当寺は仁和元年（885）、この地の豪族正六位上飯高宿禰諸氏（法名仏氏観勝）が内外の近親等に勧進して建立したと伝えられています。以来、飯野・多気・度会の豪族が田地を寄進していきます。古くは丹生山光明寺と号したといわれます。



▲本堂



▲鐘楼

○ 基本情報

住所／〒519-2176 三重県多気郡多気町長谷 201

電話／0598-49-3001

参拝時間／8時～17時

公式サイト／

山号／丹生山（にうさん）

寺号／近長谷寺（きんちょうこくじ）

宗派／真言宗山階派



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第12番 神宮寺

○ お寺の歴史

宝亀五年（七七四）光仁天皇の勅により勸操大徳が開山なされた。弘仁年中（八一〇～二四）唐から帰国の弘法大師が伊勢神宮参拝の折、当山に立寄られ、師である勸操大徳の開山と知り、大師はかねてより高野山に伽藍建立の計画があったが、「先ずこの地に仏閣を建立し衆生を救わん」と発願、弘仁六年（八一五）七堂伽藍を完成された。



▲山門



▲仏像と観音像



▲蓮が繁る池



▲本堂

○ 基本情報

住所／〒 519-2211 三重県多気郡多気町丹生 3997

電話／ 0598-49-3001

参拝時間／ 8時～ 17時

山号／丹生山（にうさん）

寺号／神宮寺（じんぐうじ）

宗派／真言宗山階派



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第13番

千手院賢明寺

○ お寺の歴史

「千手院の観音さん」といわれ、一志郡三十三カ所1番目の札所でもあります。天台宗山門派延暦寺の末寺に属しています。天平2年(730)行基の開創と伝え、春日仏師が刻んだ救世千手大悲観音菩薩を安置し、本尊としました。

南北朝の頃の延元3年、雲出川の戦いの戦火に遭い諸堂は焼失しましたが、正平21年(1366)国司北畠顕能の帰依により本堂はじめ堂宇を再建し、以来、北畠氏代々の祈願所と定められて寺威は復しました。



▲山門



▲本堂内陣



▲鐘楼

○ 基本情報

住所／〒514-1125 三重県津市久居元町 2059

電話／059-255-2312

参拝時間／8時～17時

山号／青瀧山(せいりゅうざん)

院号／千手院(せんじゅいん)

寺号／賢明寺(けんめいじ)

宗派／天台宗山門派



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第14番 恵日山観音寺

○ お寺の歴史

正式には恵日山観音寺、日本三観音の一つで本尊は秘仏の聖観世音菩薩、多数の文化財を有する真言宗の名刹である。奈良時代の初め和銅二年（七〇九）の開山以来、津はもとより全国の人々から海上安全、諸願成就の観音様として深く信仰を集め、室町時代には將軍足利義教が朝命を奉じ三重塔を建立したり、豊臣秀吉が出陣の際に祈願を怠らなかつたのが当観音寺である。



▲五重塔・本堂・鐘楼



▲大仏像



▲本堂内陣



▲山門

○ 基本情報

住所／〒514-0027 三重県津市大門31

電話／059-225-4013

参拝時間／8時～17時

公式サイト／<http://www.tsukannon.com>

山号／恵日山（えにちざん）

寺号／観音寺（かんのんじ）

宗派／真言宗醍醐派



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第15番 長谷寺

○ お寺の歴史

当山の開基は徳道上人で、その創設については大宝年間（七〇一〜七〇四）と伝わる。大和の長谷寺を模したものととして、遠長谷寺とも呼ばれている。

佐々木氏や北畠氏の祈願所であったといわれているが、たびたびの兵火に遭い、ほとんど廃絶していたのを二代津藩主の藤堂高次公が再興し、藤堂家歴代の祈願所とした。



▲本堂



▲本堂内陣



▲六観音



▲鐘楼

○ 基本情報

住所／〒514-0077 三重県津市片田長谷町230

電話／059-237-2648

参拝時間／8時～17時

公式サイト／<http://www.chokoku-ji.com>

山号／近田山（きんでんざん）

寺号／長谷寺（ちょうこくじ）

宗派／臨済宗相国寺派



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第16番 密蔵院

○ お寺の歴史

その昔、当寺領を一带を白山といい、津藩二代藩主藤堂高次（在職一六三〇～六九）が白山妙理大権現祈願所としていた。寛文年中（一六六一～七三）高次が病魔に冒され苦しんだ時、阿闍梨朴心に病氣平癒の祈禱を命ぜられた。朴心は三密加持の秘法を修し祈禱を続けたところ、病は忽ちにして平癒したので高次は大いに喜び、朴心に白山の土地を与え、この寺を創立させ念持仏を祀ったといわれる。



▲山道と山門



▲本堂内陣



▲本堂

○ 基本情報

住所／〒514-007 三重県津市大谷町260

電話／059-227-3034

参拝時間／8時～17時

山号／白山（はくさん）

寺号／密蔵院（みつぞういん）

宗派／真言宗御室派



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第17番 蓮光院初馬寺

○ お寺の歴史

寺伝によると聖徳太子（五七四～六二二）四十二歳の時、四天王寺建立を発願し伊勢の地へ来られたが、病に罹り加えて都の母、正妃をも不例との報あり、心痛の上伽藍造営も進まず困惑のところ、太子の師僧恵慈の教示により、自ら馬頭観音を刻み、大日如来を恵慈に、阿弥陀如来を慧聡に刻ませ、鬼門の方向に草堂を建て安置し、法興寺の善徳僧正を召され、除難の法を修せられた。効あつて太子及び家族の病は平癒し、伽藍も順調に竣工するに至った。



▲本堂内陣



▲魚藍観世音



○ 基本情報

住所／〒〒 514-0004 三重県津市栄町 3-210

電話／ 059-227-3632

参拝時間／ 8時～ 17時

公式サイト／ <http://park16.wakwak.com/~renkoin/>

山号／馬寶山（ばほうざん）

院号／蓮光院（れんこういん）

寺号／初馬寺（はつうまでら）

宗派／真言宗御室派



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第18番 府南寺

○ お寺の歴史

当寺は聖徳太子の創建、その後、平安初期真言宗に改宗したと伝えられ、御室派仁和寺の末寺で準別格本山の称を与えられています。

天正年中の兵乱の時、危うく兵火を免れた泰平山無量寿寺（本尊・国府阿弥陀）に、国府の南部、観音山にあつて兵火に罹り堂宇を焼失した補陀落山府南寺が、本尊の国府観音（上寺の観音ともいった）を移して合併して一寺となったもので、山号・寺号を合して泰平山府南寺と称しました。

そのため、府南寺の本尊は観音堂に千手観音、阿弥陀堂に阿弥陀如来が祀られて二字が並び立っています。江戸時代を通じて歴代亀山城主の崇敬が篤く、毎年5石の仏餉米の上納を受けていました。

泰平山無量寿寺は、聖徳太子が伊勢神宮へ戦勝を祈願のおり、神託を受けて創建したと伝えられています。鎌倉時代、奈良西大寺の覚乘上人が、伊勢神宮に祈願した「大神宮の内証を窺ひ奉らん」に応えた神託により訪れた当寺の「国府の阿弥陀」を天照大神の姿を現す唯一の像として感得し、信仰を篤くしたといわれます。

補陀落山府南寺も聖徳太子の創建に係るといわれています。本尊は国府の観音とも、上寺の観音とも称される千手観世音菩薩です。左右の脇立には上品の毘沙門天王と勝軍地藏尊とが奉安されています。そして本尊は治病・除厄・開運・安産、さらに古くは養蚕に靈験が顕かと伝え、遠近から多くの人たちが参詣します。



▲本堂



▲本堂内陣



▲阿弥陀堂内陣



▲境内庭

○ 基本情報

住所／〒513-0137 三重県鈴鹿市国府町 2548

電話／059-378-0539

参拝時間／8時～17時

山号／泰平山（たいへいざん）

寺号／府南寺（ふなんじ）

宗派／真言宗御室派（準別格本山）



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

金剛力士立像 昭和31年6月28日、国指定重要文化財に指定
アイナシ 昭和47年4月1日、県指定天然記念物指定

元19番 蓮光寺

○ お寺の歴史

当寺境内の観音堂に安置されている十一面観音は、恵心僧都の作と伝え、もとは安養寺にお祀りされていました。安養寺は浄土宗の寺院で、慶長年間の火災で堂宇の悉くを焼失しましたが、幸にも十一面観音は救い出されて地元の人々により手厚くお守りされていました。

寛文9年（1669）坂倉重常が亀山城主として入城の後、代々の城主やその令室の信仰が厚く香華・灯明料が度々寄進されました。さらに重常の正室照光院（俗名・筆子）は観音に深く帰依し、元禄8年（1695）今の天神地区に堂宇を移して法華宗に改め、寺号も慈眼寺と改称し、野村の照光寺の末寺となりました。



▲切支丹灯籠



▲山門



▲本堂内陣



▲本堂

○ 基本情報

住所／〒519-0137 三重県亀山市阿野田町 2246

電話／0595-82-7185

参拝時間／8時～17時

山号／榊宮山（しんぐうざん）

寺号／蓮光寺（れんこうじ）

宗派／天台真盛宗



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第19番 子安観音寺

○ お寺の歴史

聖武天皇の勅による藤原不比等の建立と伝えられ、天平勝宝三年（七五二）道證上人開山の千二百余念続く古刹である。

寺伝によれば、本尊はこの浦の海中より鼓に乗って出現したといわれる白衣観音菩薩。難産を救い、子孫長久を守る子安観音として崇められ、人々の信仰を集め今日におよんでいる。



▲山門



▲五重塔



▲本堂内陣



▲本堂

○ 基本情報

住所／〒 510-0254 三重県鈴鹿市寺家 3-2-12

電話／ 059-386-0046

参拝時間／ 8時～ 17時

公式サイト／

山号／白子山（しろこさん）

寺号／子安観音寺（こやすかんのんじ）

宗派／高野山真言宗



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第20番 林光寺

○ お寺の歴史

寺伝によると、天平十二年（七四〇）聖武天皇の勅により、行基が東大寺無事建立祈願の途次、この地を訪れた折、林の中に清泉が湧き出て金光を放つものを見て感得し、聖武天皇勅願寺として開創されたと伝える。山号「金井山」の由来となっている。



▲本堂



▲本堂壁面仏画



▲本堂内陣



▲山門

○ 基本情報

住所／〒 513-0801 三重県鈴鹿市神戸 6-7-11

電話／ 059-382-0610

参拝時間／ 8時～17時

公式サイト／

山号／金井山（かないさん）

寺号／林光寺（りんこうじ）

宗派／真言宗智山派



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第21番 円福寺

○ お寺の歴史

当寺は9世紀初め、嵯峨天皇の頃に行基の刻んだ十一面観音を本尊とし、御安座堂・七堂伽藍を建立、開山したと伝えられています。当初、寺号は住山寺と号していました。天正6年（1578）織田信長の兵火に遭い、諸堂は灰燼に帰しましたが、事なきを得た尊像を村の東北に建てた小堂に安置し、真言宗に属して命脈を維持しました。



▲本堂



▲本堂内陣



▲経堂



▲山門から望む本堂

○ 基本情報

住所／〒519-0162 三重県亀山市住山町660

電話／0595-82-2366

参拝時間／8時～17時

山号／日照山（にっしょうざん）

寺号／円福寺（えんぷくじ）

宗派／黄檗宗真光派



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとGoogleマップを表示します。

○ 見所

第22番 宗徳寺

○ お寺の歴史

今より約一千百年前、醍醐天皇の御宇(西暦八九七〜九二二)に天皇の勅願により観音尊像が作られた。

その観音堂の位置は現在地の東南方百メートルの所であつたらしい。前に大きな門もあつた。

今も流れている川の名を「大門川」という。

慶長十四(西暦一六〇九)年に現在の当山境内に移築された。

平成四(西暦一九九二)年に屋根総葺き替え、堂の修繕が行われた。

観音堂が移転された当時は「内山連蔵院(ないざんれんぞういん)」と称した。

毎日参詣される篤信の方が多々ある。

近くに金比羅堂がある。



▲本堂天井絵図



▲本堂



▲鐘楼

○ 基本情報

住所／〒519-0222 三重県亀山市両尾町208

電話／0595-85-1369

参拝時間／8時～17時

山号／清涼山(せいりょうざん)

寺号／宗徳寺(そうとくじ)

宗派／曹洞宗



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第23番 野登寺

○ お寺の歴史

今から千百年も昔のことです。醍醐天皇（在位八九七〜九三〇）はある夜、夢の中に菩薩（仏さま）が現れ、お告げを受けられました「私は、伊勢の国鶏足山に住み、民衆の安穩を祈っています。今この国は乱れ、田畑は荒れ人々は大変困っています。どうか帝の力でこの災禍を取り除いてください」と言われ消えてしまいました。夢から覚められた帝は不思議に思われ、すぐさま勅使を鶏足山に使わされました。



▲本堂



▲本堂内陣



▲



▲山門

○ 基本情報

住所／〒519-0223 三重県亀山市安坂山町 2033-1

電話／0595-85-0729

参拝時間／8時～17時

公式サイト／<http://homepage3.nifty.com/yatoji/>

山号／鶏足山（けいそくざん）

寺号／野登寺（やとうじ）

宗派／真言宗



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第24番 荒神山観音寺

○ お寺の歴史

荒神山観音寺は、九世紀の初期嵯峨天皇の時代弘仁三年（西暦八二二年）に、弘法大師が日本武尊の御神霊を仏像としてまつり、神事山と称したのが始まりで、その後、寛治元年（一〇八七年）に大和の国の法陵律師という聖僧が、神事山の観音大士のおつげにより当地を尋ね、檜の大樹の下に、尊き十一面観世音菩薩のおわします姿を見い出して、御堂を建立安置したのが縁起です。



▲本堂



▲本堂内陣



▲鐘楼



▲山道

○ 基本情報

住所／〒 513-0011 三重県鈴鹿市高塚町 1777

電話／ 059-379-0331

参拝時間／ 8時～ 17時

山号／荒神山（こうじんやま）

寺号／観音寺（かんのんじ）

宗派／真言宗



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

元25番 尾高山観音堂

○ お寺の歴史

尾高高原のふもと、樹齢約300年の松の巨木が立ち並ぶ参道を登ると、尾高観音の六角堂があります。堂内には聖徳太子の作と伝える高さ約1.7メートルの木造千手観音菩薩像を安置され、庶民には「尾高の観音さん」と親しまれて篤い信仰を受けています。



▲本堂（六角堂）



▲本堂へとつづく松並木

○ 基本情報

住所／〒510-1326 三重郡菟野町杉谷字尾高

電話／059-396-1440

参拝時間／8時～17時

山号／尾高山（おだかさん）

寺号／観音堂（かんのんどう）

宗派／浄土宗



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第25番 勅願院 観音寺

○ お寺の歴史

当山は、神亀四年（七二七）小野の湊（現在の大浜町地内）に出現せられた四足八鳥如意輪観世音菩薩を人皇四十五代聖武天皇が深く帰依し給い天平九年（七三七）登城山に一字を創建して補陀洛山観音寺と名づけられた。

その後貞観六年（八六四）天台宗第三祖智証大師が来山され七堂伽藍を建て、天下七十二坊の一とされ鎮護国家の大道場とされた。

鎌倉時代の宝治二年（一二四八）浄土宗第三祖記主禪師が関東に布教に行かれる途中当山に立ち寄られ、伊勢の国の念佛弘通の根本道場とされ、この村の長者に観阿弥、道阿弥、専阿弥、誉阿弥の号を授けられた。すなわち八鳥家の祖、清水家の祖、日永両聖寺の開山、田光九品寺及び桑名十念寺の開山である。当山には、禪師自作と伝えられる禪師木像があり、宗宝に指定されている。また禪師が伝えられた声明念佛は、七百余年相承され現在もお盆の三カ日、本堂の記主禪師像を前に唱えられている。



▲本堂



▲本堂内陣



▲山門



▲本堂と鐘楼

○ 基本情報

住所／〒510-0881 三重県四日市市六呂見 1068

電話／059-345-0565

参拝時間／8時～17時

山号／補陀洛山（ふだらくざん）

寺号／勅願院（ちよくがんにん）

宗派／観音寺



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

元26番 慈眼寺

○ お寺の歴史

慈眼寺の前身の観音寺は、杉谷の集落の北西、北谷にあった天台宗の古刹でした。天正の頃、この地を襲った織田信長の兵火によりすべての堂宇・寺什を灰燼に帰し、村の中に移されました。



▲本堂



▲本尊



▲本堂内陣



▲山門

○ 基本情報

住所／〒510-1326 三重県三重郡菰野町杉谷 1797-1

電話／059-396-1440

参拝時間／8時～17時

山号／杉谷観音山（すぎたにかんのんざん）

寺号／慈眼寺（じげんじ）

宗派／浄土宗



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第26番 垂坂山 観音寺

○ お寺の歴史

寺の由緒は、若き日の慈恵大師が大乗戒で伊勢を行脚中、朝明郡の領主舟木良見の帰依寄進をうけ、延長六年（九八二）垂坂山に堂塔が建てられたことに始まる。

寺は伊勢天台別院として栄え、最盛期には二十四坊が葺を並べる大寺であった。

しかし、天正三年（一五七五）織田信長の兵火にかかり、諸堂ごとごとく炎上してしまう。

その後、荒廃していた観音寺を嘆いた桑名藩野村増右衛門は藩主松平定重公に再興を願い、藩主の命により元禄四年（一六九一）復興する。



▲本堂



▲本堂内陣



▲山門と鐘楼



▲山門への階段

○ 基本情報

住所／〒510-8037 三重県四日市市垂坂町 1266

電話／059-331-5448

参拝時間／8時～17時

公式サイト／<http://kannonji.me>

山号／垂坂山（たるさかさん）

寺号／観音寺（かんのんじ）

宗派／天台



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第27番 長興寺

○ お寺の歴史

当寺は養老年中の薬師如来をお祀りする草庵がその始まりとされる。

その養老六年（七二二）に、諸国を行脚されていた泰澄大師が一夜の宿とされた時、薬師如来が夢に立たれ「前にある大木で仏像をつくり、衆生を救え」と告げられた。夢覚めて大木を見るに、大日如来の御形が映るが如く、夢のお告げに任せ、一日一夜にして大日如来を刻まれた。この尊像、人々の諸々の願いをかなえるによって、日をおかずして寺となったと伝えられる。

弘仁八年（八一七）七月弘法大師が再建され、仁治三年（一二四二）には満月上人が別当として錫留され、新たに一字を建立して北島長興寺と称された。

また、創建当初は貧窮者・病者・孤児などを救うための悲田院となっていたといわれている。



▲本堂



▲本堂内陣



▲本堂内陣



▲地蔵尊と十六羅漢

○ 基本情報

住所／〒510-8014 三重県四日市市富田3-1-16

電話／059-365-2595

参拝時間／8時～17時

山号／富田山（とみださん）

寺号／長興寺（ちょうこうじ）

宗派／曹洞宗



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第28番 宝性寺

○ お寺の歴史

奈良時代聖武天皇が天平一二年（七四〇）、朝明行宮の際摩伊多の里に御野立された地で、勅願により建立されたのが当時の創建とされる。ちなみに、現在地の西方三〇〇mには、宝性寺、堂前の地名が残されている。

創建時は、樹木が鬱蒼とした敷地二八〇〇〇㎡の中に七堂伽藍の荘厳なお堂が立並んでいたと伝えられる。また御本尊としては、江州（滋賀県）石山寺を開基した良弁僧正（六八九〜七七三）による一刀三礼の彫刻になる十一面観世音菩薩像を安置して祀り、長く隆盛をみた。



▲本堂



▲



▲本堂内陣

○ 基本情報

住所／〒510-8022 三重県四日市市時田 2-12-26

電話／059-365-5411（世話人宅）

参拝時間／8時～17時

山号／龍王山（りゅうおうざん）

寺号／宝性寺（ほうしょうじ）

宗派／単立



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第29番 聖寶寺

○ お寺の歴史

鳴谷山聖寶寺は本尊に十一面観世音菩薩を安置する臨済宗妙心寺派の禅寺で、平安初期の大同二年にこの寺を開創されたのは、天台宗の開祖伝教大師最澄大和上である。

元龜・天正の戦国時代、織田信長が基将・滝川一益をして員弁攻略の軍を進発させるに当り、郡内の諸神社・諸寺院共に殆どその大半はこの兵火のために焼尽したのである。

実際、聖寶寺もその災厄を免れず、焼亡して伝教大師以来の伝統一千年の歴史が滅したのである。時に天正八年二月であった。



▲本堂



▲鳴谷滝



▲本堂内陣



▲回遊式庭園・鏡池

○ 基本情報

住所／〒511-0518 三重県いなべ市藤原町坂本981

電話／0594-46-8101

参拝時間／8時～17時

公式サイト／<http://www.shoubouji.com/>

山号／鳴谷山(めいこくざん)

寺号／聖寶寺(しょうぼうじ)

宗派／臨済宗妙心寺派



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第30番 安渡寺

○ お寺の歴史

抑も壇上御厨子の内に安置し奉る尊像は今を去る約壹千年前藤原中期の作にして、蓮花座、舟形光背共に一尺五寸、仏身一尺の小像、檜材一木造り、当初は檀像様の木地仕上げに多少彩色があつた様にも思われるが確かではない。造立は藤原初期に見え、全面肌荒れの為め衣文緑が崩れて明確でないが、密教系、藤原中期の作と推定され、左手に蓮花を持ち、右手をあげ胸前にて施無畏手（せむいしゆ）の印を結印し、御面相は、ものやわらかな微笑を含む出来である。

肩にかゝる天衣や正面の裾衣の太い陰影、背面の簡略した彫刻に小像らしさが見られる。復元した蓮花座に立たれ一枚板の舟形光背を背景にして見ると本来の具わった時代の調子が浮かび出る。聖観音とは化身（観

音は三十三に化身する）しない本来の姿を言い、檀像小像は天台宗寺院においては本尊に次ぐ重要な仏像として平安朝前期以来優秀小像が作られて残っている。



▲本堂



▲本堂内陣



▲本堂内陣



▲

○ 基本情報

住所／〒 511-0912 三重県桑名市星川 448-10

電話／ 0594-31-8891

参拝時間／ 8時～ 17時

山号／星川山（ほしわかざん）

寺号／安渡寺（あんどじ）

宗派／単立



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第31番 勸学寺

○ お寺の歴史

当山開基は、聖武天皇の御年(七二四〜四九)行基菩薩の草創によるものと伝えられている。

室町の頃(一三九〇〜一五七〇)までは走井山北麓にあった。同地内(現在の桑名高校付近)の海善寺が廃寺となり、本尊の千手観音立像が当寺へ移されてきた。走井山矢田城主の矢田市郎左右衛門が深く同観者を信仰していたといわれる。



▲本堂



▲本堂内陣・観音像



▲天井絵図と絵馬



▲鐘楼

○ 基本情報

住所／〒511-0821 三重県桑名市矢田266

電話／0594-22-7762

参拝時間／8時～17時

山号／走井山(はしりいざん)

寺号／勸学寺(かながくじ)

宗派／高野山真言宗



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

第32番 飛鳥寺

○ お寺の歴史

当山は、雨尾山味光院飛鳥寺と称し、桑名市深谷町字山之城にあり、木曾三川を眼下に、名古屋市街、濃尾平野、遠くは木曾の御嶽が、一望できる眺望絶佳の高台にあります。

十一面観世音菩薩（六尺立像）をご本尊として、弘法大師、大日如来、善光寺如来、馬頭観音、千手観音、子安地藏尊、不動明王、寺宝として弘法大師画像（桑名市文化財）等、多くの仏像を安置して居ります。

往昔、当寺は、深谷村字坊ヶ谷に在り、寺域周囲一里半、寺領千石、十二坊の伽藍が並び、真言密教の名刹でありましたが、元龜二年（一五七二）織田信長の兵火により、堂宇、仏像、経典、故文書など多くを焼失致しました。



▲本堂



▲本堂内陣



▲山門



▲鐘楼

○ 基本情報

住所／〒511-0805 三重県桑名市深谷町 2386

電話／0594-29-2019

参拝時間／8時～17時

公式サイト／

山号／雨尾山（あまおざん）

寺号／飛鳥寺（ひちょうじ）

宗派／真言宗東寺



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとGoogleマップを表示します。

○ 見所

第33番 多度観音堂

○ お寺の歴史

天平宝字7年（763）多度大社の東、鷲の倉の地に満願禪師が道場を開き、丈六の仏像を安置して礼拝、修行をしていました。ある夜、多度大神の神託を受けて、堂塔の建立を発願し、各地を勧進して浄財を募ってこの地に堂を建立しました。そして神像を祀って多度大菩薩と号していました。その後、郡主水取月足から鐘楼と共に銅鐘の寄進を受け、また、美濃の近土県主新麻呂から三重の塔の奉納を受けるなど寺院の基礎ができました。



▲本堂と階段



▲本堂内陣・観音像



▲手水舎



▲多度観音堂への入り口

○ 基本情報

住所／〒511-0106

三重県桑名市多度町多度山下 1613

電話／0594-48-2037

参拝時間／8時～17時

山号／

寺号／多度観音堂（たどかんのどう）

宗派／真言宗



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所

番外

大福田寺

○ お寺の歴史

当山は古くは伊勢山田にあり、聖徳太子の草創と伝えています。天武・持統天皇並びに聖武天皇の行幸を受け、伊勢神宮の神宮寺として大神宮寺と号していました。天長年間（824～34）弘法大師が当寺において三密の法を修したことにより、真言道場となりました。淳和天皇の時、勅願寺となり、宇多天皇の行幸の際に方丈を行宮とし、以後、法皇院と号しました。永承7年（1052）後冷泉天皇が伊勢神宮奉幣の際に一千僧勅会の読経を催しました。その後も明治初年まで代々の天皇の勅願所、皇室の祈願所として栄え、菊の御紋章を許されました。弘安年中（1278～89）火災のため伽藍は炎上、焼失したが、神宮詞人大和守額田部実澄（桑名神戸郷開発領主門鎌の子孫）が相模國極楽寺開山忍性上人と協力して桑名神戸郷（現桑名市大福）に再興しました。また、後宇多天皇も寺領を下賜して勅願所とせられ、寺号も福田寺と改めました。さらに足利尊氏の崇敬を受け、寺号に大の字を加えて大福田寺と改称しました。



▲本堂



▲本堂内陣



▲祈願堂



▲山門

○ 基本情報

住所／〒511-0811 三重県桑名市東方1426

電話／0594-22-0199

参拝時間／8時～17時

山号／神寶山（しんぼうざん）

寺号／大福田寺（だいふくでんじ）

宗派／高野山真言宗



左のQRコードをスマートフォンやタブレットで読み込むとグーグルマップを表示します。

○ 見所